

王寺北義務教育学校の校章・校歌について

校章の由来

周囲に配した雪の結晶は、晋の孫康^{そんこう}が貧しくて燈火用の油を買えないので雪を集めて、その明かりで勉強した^{けいせつ こう}という中国の故事（螢雪の功）によるもので、意欲的に勉学に励んでいこうという児童生徒の心意気を図案化したものです。

中央の半円は「王」と「寺」の文字をデザイン化。また「友情の和（輪）」、「先生と児童生徒の和（輪）」、「地域との和（輪）」を表す三重の輪をイメージしています。

中央には町花の「さつき」を配置し、花の形は「北」の文字を表現したものの。

雪の結晶の先端は漢字の「王」とも読むことができ、中の六角形と円は、かどのない円満な心身ともに健全な人格を持ち成長することを願ったものです。

このデザインは王寺中学校の校章の由来をそのまま引き継いでいます。



校歌

王寺北義務教育学校 校歌

作詞 校歌作成委員会
作曲 米谷 幸

一番

やまと なが やわ
大和の流れ 和らぐ陽
いにしえの学窓 風青し
たいし ひ た あ
大志を秘めて 立ち上られ
おうじきた かたおか かがや
王寺北 傍丘に輝く

二番

まな にわ うめひやつか
学びの庭に 梅百花
きよ こころ はぐく ち
清き心 育む地
とも そだ とも い
仲間と育ち 共に生き
おうじきた かたおか さ
王寺北 傍丘に咲く

三番

ゆめ きぼう み
夢と希望に 満ちあふれ
くねん まな みらい
九年の学び 未来へと
の われ うたこえ
伸びゆく我らの 歌声よ
おうじきた かたおか ひび
王寺北 傍丘に響け